

こうとう民報

2010年12月号 No.74

江東区の職場・地域 議会などから
し・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

食の安全を守るため



築地市場は現在地で再整備を

12月10日、共産党区議団と地区委員会・支部は東陽町駅頭で「食の安全を守るため、汚染された豊洲東京ガス工場跡地への市場受け入れは白紙撤回し現在地で再整備を」と訴え、署名を呼びかけました。短時間で多くの方々が署名してくれました。

東陽町で「築地市場受け入れは白紙撤回せよ」と訴える区議団
石原知事は都議会第4回定例会が開かれました。

例会の所信表明で築地市場の豊洲東京ガス跡地への移転を強制的に推進することを決め、予算執行するとしてきました。

東京ガス跡地は、発ガン性のベンジンを環境基準の4万3千倍、シアン化合物が860倍が検出されるなど深刻な土壌汚染が明らか

白紙撤回せよの意見続出 住民説明会

12月12日豊洲小学校で開かれた「豊洲新市場建設事業」住民説明会には、地元住民をはじめ学者等130人が参加。東京都は土壌・水質汚染、交通量増大など住民の心配や不安にまともに応えず、「安全です」を繰り返して、推進する態度を表明。まだ質問・意見の手が多数上がっているのに時間だからと強引に説明会を打ち切りました。



な土地です。また地下水汚染対策のデータの一部分に「まかしの疑いがあり、食の安全が最優先されるべき市場の移転地としてふさわしくありません。日本共産党地区委員会は区長に対し白紙撤回を求め都に働きかけるよう署名活動に取り組んでいます。

新婦人創立50周年にむけ、大きな飛躍を！

江東地域で女性運動をはじめ多種多彩な運動で奮闘している新婦人江東支部の第30回定期大会が11月21日に開催されました。事務局長に再任された加藤恵美子さんに大会の内容と決意を伺いました。



新婦人事務局長 加藤恵美子さん

大会には33班から56名の代表議員が参加。忙しいなか班会を開く努力を重ね、また大会での交流を通じ、集まっておしゃべりすることが元気を生みだし、地域の様々な問題をとりにくむ力になっていくと強く感じました。

また20年続けてきた産直運動の大切さや、都営住宅の建て替え、放課後キッズクラブ運営の問題点や母親との連携、小学校の学習指導員の方から「25人学級でも大変」など活発な意見が出されました。

会員の悩みを受けとめ何でも話せてホッとできると職場班、介護技術のスキル

初めて参加する代表議員も多く、「参加して良かった。女性の地道な活動が国連NGO団体として世界に広がっていくのを目のあたりにしました」、「いろんな班の発言から多くを学ぶことができ元気が出た」、「新婦人の大会って楽しい！」など感想が寄せられました。

の再整備を求めました。自民党は移転促進の立場で質問、都議選で移転反対を公約した民

主党は一言も触れずじまい。公明党はこの4年間築地市場移転問題はただの一度も取り上げません。



区長提案なんでも賛成のオール与党と暮りし守る日本共産党との違い鮮明に

日本共産党は不況打開のために国に「働くルール」の確立を求めよと迫り、区自らが正規職員の雇用拡大や非常勤職員、臨時職員の処遇を改善せよと求めました。国保料や介護保険料・利用料の引き下げなど求めました。いつもの民間委託促進を自民、公明、民主の各党は不況が区財政に

大を迫りました。区は新たな技能系職員の採用をやめ、老人福祉会館、図書館、児童館、保育園の民間委託を進めると答弁。学

校給食の調理業務を来年度には初めて2校を民間委託、直営校は1校のみとなります。来年度2校の学校用務員を初めて民間に委託するとしました。

日本共産党は、都の土壌・地下水汚染調査、処理対策実験もずさんで信頼性に欠けると指摘。区長に移転受け入れ方針の撤回と築地で

師走を迎え今年のもっとも寒い季節。たしかに、夏の記録的な炎暑で昨年の16倍以上の方が熱中症で亡くなりました。江東区では、環境や子どもたちの健康への悪影響を理由に当初は反対された日本共産党区議団の提案が実現し、小・中学校にクーラーが設置され喜ばれています。2位は「中」。

大々的に報道された尖閣諸島の中国漁船の衝突事件など領土問題をめぐる中国の「脅威」を示しているのでしょうか。この問題では、志位委員長が菅政権に日本固有の領土としての歴史的事実を提示して感謝され、国会でも自民・民主両党の議席から拍手で迎えられるました。3位の「不」は不信・不安を表す否定的な意味にとらえる方が自然でしょう。

自民党化がすすみ支持率20%の民主党政権への不信、高齢者差別医療、障害者自立支援法の継続、消費税増税と法人税減税、大学生の就職率57.6%。数々の不安が社会に暗い影を落としています。▼来年4月にはいっせいで地方選挙が行われます。そこで想起してほしいにいられます。70年代には住民本位の地方革新自治体があるが、国政を変え、老人医療費無料化、児童手当、公害規制など実施されました。そんな年にしたいと願わずにいられます。よいお年を。

平和・くらし風土記

54

国保料負担軽減に向けて区長に申し入れ

奥むめお 奥むめお

婦人運動家・奥むめお(1895年・明治28年生)が、深川に隣接する本所に婦人セツルメントをはじめたのは1930年(昭和5)でした。

当時の本所・深川は「東京市全体の上にて、細民のもっとも多く居住する地は本所・深川の両区なるべし」(横山源之助著・日本の下層階級)と書かれた貧しい人の多い地域です。奥むめおも「ルンペンが道端にごろごろして一町じゅうに一種の悪臭があぶらぎって充満する」と自伝で書いています。

奥むめおたちは、親にかまってもらえぬ子どもたちのために託児所づくりから始めました。

借家は広さ百坪で、名称を林町保育園とした定員百名の募集に申込みは238人に達したといひます。

その後婦人セツルメントは子どもや婦人たちの要求にこたえて、妊娠調整部、健康相談部、消費組合、夜間女学部、母の会などの活動を展開しますが、その間、何度も財政危機に陥ります。

その都度、賛助会費、寄付などで切り抜けますが、こうした背景には、「セツルメントは社会事業として、恵まれた階級の人びとが、恵まれない生活の人びとに対して指導し、教え、救済するものとされていたが、お互いに助け合い、勉強しあい、鍛えあってゆく社会学校にしたい」との奥むめおの考えに、影響を受けた人々の寄付、協力が婦人セツルメントを存続させてきたと言えます。

永年続いた婦人セツルメントは1945年の東京大空襲で全焼しました。



11月24日、日本共産党区議団は、国保料負担軽減に向けて区長に申し入れをおこないました。

11月16日、東京23区特別区長会は、23区国保料の「暫定案」を了承しました。「暫定案」は来年1月には最終決定されます。国保料算定を、これまでの住民税方式から新算定方式に変更すると決まっています。新算定方式は所得から差し引かれるのは基礎控除のみで、社会保険控除・扶養控除、障害者控除など、各種控除が反映されなくなり、暫定措置は、低所得者を中心に急激に保険料が上がり負担増になることから、2年間の経過措置を行うとしています。その後については大幅な値上げを行う事が予想されています。江東区議団は、国保料の負担軽減に向けて、激変緩和として実施する経過措置(2年間)の財源は、保険料が値上げにならないよう、23区一般財源で補うこと、軽減措置を恒久化すること、国保料軽減への国庫負担増額や都の補助金確保に全力を尽くすことを強く求めました。

11月28日(日)江東生活と健康を守る会が、第38回



みんなで支え、ほぐしあって強く大きな「守る会」をつくらう！
江東生活と健康を守る会
第38回大会

大会を区民センターで開き44名の方が参加しました。大会は、平野岩夫副会長が開会挨拶、活動報告に立った佐藤慶会長(下内写真)は、民主党政権が誕生し1年2カ月、国民の願いに背を向け医療も介護も、障害者のみなさんの期待や願い裏切っていると厳しく批判しました。今期の活動で母子加算や高齢加算の復活、都営住宅のドア・ノブのレバー化の実現、税金相談会などの取り組みと共に「食生活と健康」「葬祭を考える交流会」など新しい分野での活動を紹介します。また生活保護基礎切かけました。大会は「みんなで支え、ほぐしあって大きな「守る会」をつくらう！」と呼びかけられました。会場では、補聴器を発言席に向け耳を傾けている方や、眼鏡を片手に熱心に議案書を読む姿が多く見受けられました。

下げに反対する「生存権裁判」が大事な時期を迎え勝利をめざし署名活動を広げようと提起しました。午後の討論では、6つの班から「みんなが気軽に参加できるように、都営住宅の集会所を繰り返し交渉し借りられるようになり、班会議も定期的な開け、参加しやすくなった」「高齢者が多いので、年寄りにあった食事と、料理教室を開き、好評だった」など発言がありました。



暮らし・雇用を守れ
日本共産党のあぜ上三和

子都議は都議会の代表質問で、暮らし・雇用へ支援の拡充、漫画の性描写を規制する青少年健全育成条例改正案や築地市場(中央区)の江東区豊洲(東京ガス工場跡地)への移転計画を撤回するよう石原知事に迫りました。代表質問の傍聴に江東区から70名を超える方が参加しました。

あぜ上三和子都議が代表質問

第四回定例会本会談(12月7日)

- 行事**
- 1月4日(火)午前11時 新春「消費税増税反対」署名
 - 富岡八幡宮大鳥居前、消費税なくす江東の会
 - 1月11日(火)19時 革新都・区政をめざす江東連絡会総会
 - 江東区文化センター 第一研修室
 - 1月21日(金)18時半 江東区労連2011年新春旗開き
 - 東京土建江東支部会館
 - 2月3日(木)19時 革新都・区政をめざす区民集会(仮称)
 - 江東区文化センター 革新都・区政をめざす江東連絡会



消費税増税反対
江東各界連が宣伝署名
12月7日亀戸駅北口で消費税廃止江東各界連絡会の宣伝行動が行われました。宣伝には4団体24名が参加、63筆寄せられました。